

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 60-025385  
 (43)Date of publication of application : 08.02.1985

(51)Int.CI. H04N 1/44  
 H04L 9/00

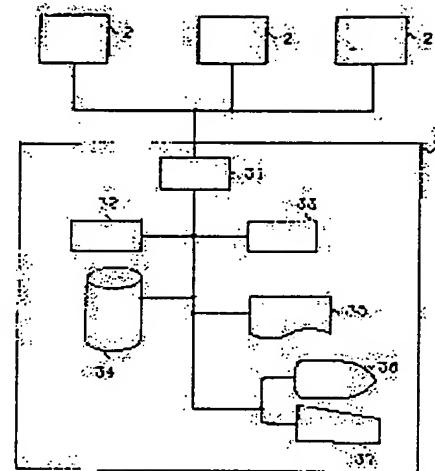
(21)Application number : 58-133363 (71)Applicant : RICOH CO LTD  
 (22)Date of filing : 21.07.1983 (72)Inventor : ITO SHUJI

## (54) SECRET DOCUMENT PRINT SYSTEM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To keep firm confidentiality on printing as well as use of a secret document and a file by providing a pass word together with the designation of the classified document.

**CONSTITUTION:** When a document is transmitted from plural work stations 2, the document is inputted through an interface 31 connected to a print system 3. Only the secret document is stored in an external storage device 34. In this case, a work station 2 forming the secret document provides a designated pass word. In reading the secret document, a document identification name and the pass word are inputted from a keyboard 37, a central processing unit 33 reads sequentially the document identification name and the pass word of the secret document stored in the external storage device 34 and collates them. Only when they are coincident, the corresponding secret document is printed out from a printer 35.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁 (JP)  
⑩ 公開特許公報 (A)

特許文献  
⑪ 特許出願公開

昭60—25385

⑤ Int. Cl.  
H 04 N 1/44  
H 04 L 9/00

識別記号

府内整理番号  
7136—5C  
7240—5K

⑫ 公開 昭和60年(1985)2月8日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑥ 秘文書印刷システム

⑦ 特願 昭58—133363  
⑧ 出願 昭58(1983)7月21日  
⑨ 発明者 伊藤修治  
東京都大田区中馬込1丁目3番

6号株式会社リコー内

⑩ 出願人 株式会社リコー  
東京都大田区中馬込1丁目3番  
6号  
⑪ 代理人 弁理士 磯村雅俊

明細書の序文(内容に変更なし)(1ページ)  
明細書

1. 発明の名称 秘文書印刷システム

2. 特許請求の範囲

複数の遠隔ステーションに接続され、かつ中央処理装置、記憶装置、プリンタおよびコンソールを具備した印刷システムにおいて、遠隔ステーションから送られた秘文書指定に対して、上記コンソールから入力されたパスワードと専用文書に付加されたパスワードとを比較し、一致したときのみ上記秘文書を印刷して出力することを特徴とする秘文書印刷システム。

3. 発明の詳細な説明

技術分野

本発明は、秘文書印刷システムに係り、特に分散型情報処理装置における秘文書の印刷システムに関するものである。

従来技術

従来、例えば、ファクシミリ装置で秘文書つまり親類の文書を受信したとき、受信内容を記録紙

に記録せずに、人間の目で確認できない記録媒体に記憶しておき、親類のための暗証番号との照合によってのみ記憶内容を記録紙に記録する方法が用いられていた。さらに、第1図に示すように、受信した文書の宛先コードを判定して、親類と親類以外のものに振り分け、親類の文書は折り畳んで封紙する機能を備えたファクシミリ装置が提案されている(特開昭57-57090号公報参照)。すなわち、ファクシミリ装置1が一般の原稿を受信すると、ロール記録紙11はガイド・ローラ12を通して記録冠板13で受信された内容の静電潜像が記録され、カッタ14で切断された後、送りローラ15を通して現像装置16で現像され、定着装置17で定着されてから、受信原稿ストッカ10にストックされる。秘文書の原稿を受信した場合には、宛名読み取装置18で宛先コードと親類を判定した後、切換器19により通路を切換えて記録紙ガイド板20に送り、ここで折り畳み、封紙して点線の経路で受信原稿ストッカ10に送ってストックする。しかし、このファクシミリ装置は、

ハードウェアを追加する部分が多く高価格となる。

一方、情報処理装置の秘文書処理については、従来よりコンピュータの使用に関するパスワードが用いられ、TSS(Time Sharing System)等のログイン時にパスワードを入力して記憶することにより、以後それらに対する読み出しが禁止され、秘文書の内容保護が行われていた。しかし、これらの保護は、使用とファイルの保護に固するのみであって、印刷に対しては保護されていない。すなわち、パスワードが入力されていても、印刷のためにアウトプット・キューに入ると、順番に無条件に出力されてしまい、印刷されて秘文書が部外者に知られるおそれがあった。

#### 目的

本発明の目的は、このような従来の欠点を改善し、使用およびファイルは勿論のこと、印刷に対しても機密保護を堅固にして、作成者が直接プリント・アウトするような秘文書印刷システムを提供することにある。

とパスワードを直接入力する。中央処理装置33は外部記憶装置34から秘文書の文書識別名とパスワードのみを順次読み出し、キーボード37から入力された文書識別名およびパスワードと比較し、一致したときのみ、それに対応する秘文書を外部記憶装置6から読み出してプリンタ35に送り、印刷して出力する。

キーボード37からパスワードと文書識別名を入力した人が待機している間に、印刷された文書が出力されるので、直接秘文書を受け取ることができ、文書内容が他の漏洩されない。

第3図は、第2図における秘文書印刷システムの動作フローチャートである。

ワーク・ステーション2では、文書の作成後、秘文書の指定を行い、パスワードを付加して、印刷システム3に転送する(ステップ21～24)。印刷システム3では、文書を受信したならば、秘文書を外部記憶装置34に格納する(ステップ25、26)。キー入力があると、文書識別名とパスワードを入力して、外部記憶装置34から読み

#### 構成

以下、本発明の構成を、実施例により説明する。

第2図は、本発明の実施例を示す分散形処理装置と印刷システムのブロック図である。

第2図において、2は分散された複数個のワーク・ステーション、3は印刷システム、31は接続インターフェイス、32は主メモリ、33は中央処理装置、34は外部記憶装置、35はプリンタ、36はディスプレイ、37はキーボードである。

複数個のワーク・ステーション2に接続された印刷システム3は、分散処理により作成された一般文書および秘文書がワーク・ステーション2から送られてくると、秘文書のみを外部記憶装置34に記憶する。ワーク・ステーション2において、文書を作成する場合、秘文書に対しては指定のパスワードを付加して印刷システム3に送出する。この場合、ワーク・ステーション2において秘文書を作成した人、あるいは依頼人(宛先人)は、印刷システム3のキーボード37から文書識別名

出した文書識別名およびパスワードと比較する(ステップ27、28、29)。一致したときのみ、秘文書を読み出して印刷出力し、不一致のときにキー入力を待つ(ステップ29、30)。

#### 発明の効果

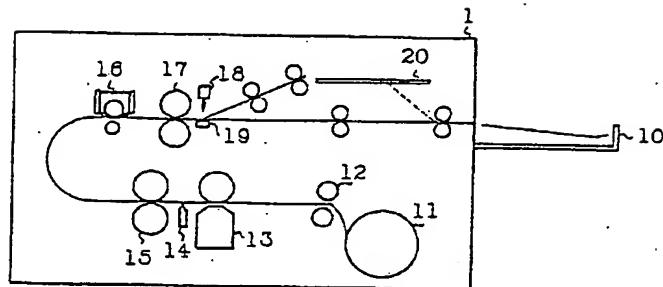
以上説明したように、本発明によれば、秘文書の作成者または依頼者がパスワードを入力して、直接プリントアウトするとともに、印刷単位にパスワードが付加されて比較照合されるので、機密保護をより堅固にすることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

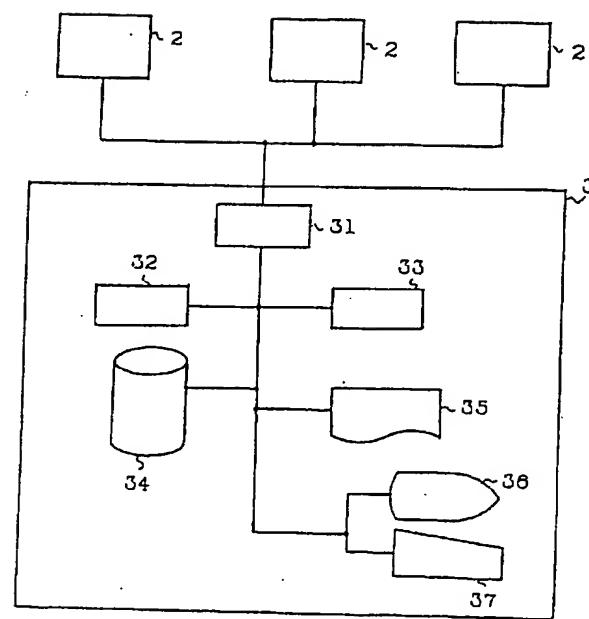
第1図は従来の秘文書印刷装置の構成図、第2図は本発明の一実施例を示す印刷システムのブロック図、第3図は第2図の動作フローチャートである。

2：ワーク・ステーション、3：印刷システム、31：接続インターフェイス、32：主メモリ、33：中央処理装置、34：外部記憶装置、35：プリンタ、36：ディスプレイ、37：キーボード。

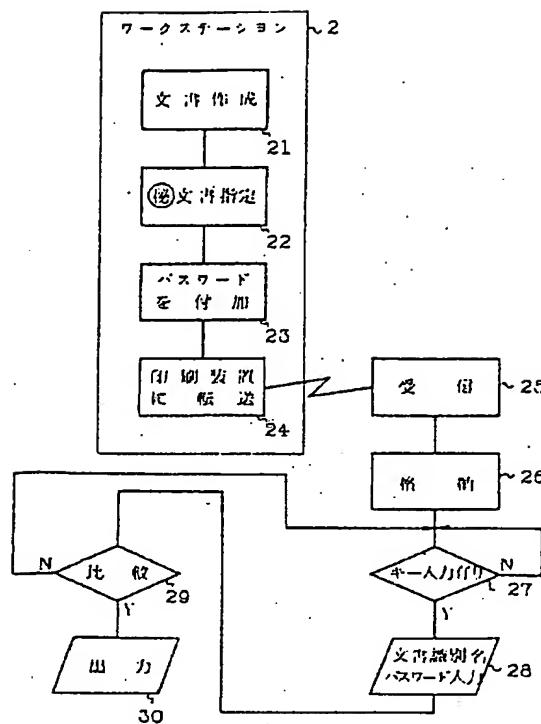
第 1 図



第 2 図



第3回



## 手続前正書(方式)

昭和58年10月31日

特許庁長官 若杉和夫殿

## 1. 事件の表示

昭和58年特許第133363号

## 2. 発明の名称 文書印刷システム

## 3. 稽正をする者

事件との関係 特許出願人

氏名(本姓) 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

氏名(姓) 株式会社リコー

代表者 浜田 康

## 4. 代理人

住所 東京都新宿区西新宿1丁目18番15号

中津ビル7階 電話(03)348-5035  
(7727)弁理士 関村雅俊

## 5. 稽正命令の日付 昭和58年10月1日(結送日)58.10.25

## 6. 稽正により増加する発明の数 なし

## 7. 稽正の対象

「特許登録請求書(出願)に「発明の範囲を明記」

明細書の「発明の名称」の欄

## 8. 稽正の内容

明細書第1頁を別添のものに  
補正する(差替)。 左記(三)